



# 平成22年度 施政方針

泉大津市



平成22年第1回市議会定例会で、神谷市長は、平成22年度の市政運営の基本方針となる施政方針を発表しました。今月号では、その施政方針の抜粋をご紹介します。なお、市ホームページでは、より詳しい内容についてご紹介しています。ぜひご覧ください。

## ▶ 平成22年度 施政方針

が下される」といふことになると思います。それは、現在の国政が民意によつて大きく動かされようとしているからであります。わたし一人ひとりが国の政治・行政・財政に关心を持ち、この国のかじ取りをする政権与党、国會議員を選ぶことにより、自分たちの日指すべき国家がどうあるべきか、国民として何をなすべきか、自分たちの夢をかなえる国にするには、今、何が必要なのか、真剣に考えるときが来ているように感じています。今、国の政治の方向性が大きく変わつたとしています。すべての政策や事業を即座に変えることはできません。従来のしがらみや既得権益を引きずりながら、少しずつ変えていくことになるでしょう。その間にさまざまな問題や課題が噴出する」とがあります。



現在の我が国は、政界をはじめ労働問題・経済・福祉などまだまだ大きく揺れることが予想され、流動的で社会全体が安定するまでこれから数年かかると思われます。これまでの古い慣習を見直し、大きく方向転換をしようと

している日本の現在の状態は、長年住み慣れた家を改築するか、新しい家を作り直すか思案している状況に似ています。これはわたしたちの市にも当

す。

それは、現在の国政が民意によつて大きく動かされようとしているからであります。わたし

一人ひとりが国の政治・行

政・財政に关心を持ち、この国

のかじ取りをする政権与党、国

議員を選ぶことにより、自分

たちの日指すべき国家がどうあ

るべきか、国民として何をな

すべきか、自分たちの夢をかなえ

る国にするには、今、何が必要

なのか、真剣に考えるときが来

ているように感じています。

今、国の政治の方向性が大き

く変わつたとしています。す

べての政策や事業を即座に変え

る」といふことはできません。従来のし

がらみや既得権益を引きずりな

がら、少しずつ変えていくこと

になるでしょう。その間にさまざま

な問題や課題が噴出する」と

あります。

現在の我が国は、政界をはじめ労働問題・経済・福祉などまだ大きく揺れることが予想され、流動的で社会全体が安定するまでこれから数年かかると思われます。

これまでの古い慣習を見直し、大きく方向転換をしようと

地域周産期母子医療センターについて、皆さんの理解とご協力により、昨年10月に開業することができました。この間、多くの人々に励まされ、また、ご指導をいただき、初志を貫徹すべく懸命に事業を推進してきました。

おかげさまで、開設以来、利用率は80%を超えており、これから出産しようとする女性に好評であり、「子どもと女性にやさしい」まちづくりが進行中

されています。わたし自身、この機会に、もう一度足元を見つめなおし、現在だけでなく、将来に責任を持つ人間、政治家でありたいと考えております。

政治に携わる一人として、昨年の最大の関心事は、やはり政

権の交代でありました。

政治の変革が地方に及ぼす影響は、すでにいくつか現れていますが、今後、地方分権とともに大きく変わっていくもの

はじめに  
政権交代により大きく変わらうとしている日本  
一人ひとりが政治のあるべき姿を真剣に考えるとき

政治に携わる一人として、昨年の最大の関心事は、やはり政権の交代でありました。

政治の変革が地方に及ぼす影響は、すでにいくつか現れていますが、今後、地方分権とともに大きく変わっていくもの

はじめて  
政権交代により大きく変わらうとしている日本  
一人ひとりが政治のあるべき姿を真剣に考えるとき

政治に携わる一人として、昨年の最大の関心事は、やはり政

権の交代でありました。

政治の変革が地方に及ぼす影響は、すでにいくつか現れていますが、今後、地方分権とともに大きく変わっていくもの

はじめて  
政権交代により大きく変わらうとしている日本  
一人ひとりが政治のあるべき姿を真剣に考えるとき

政治に携わる一人として、昨年の最大の関心事は、やはり政

権の交代でありました。

地域周産期母子医療センターについて、皆さんの理解とご協力により、昨年10月に開業することができました。この間、多くの人々に励まされ、また、ご指導をいただき、初志を貫徹すべく懸命に事業を推進してきました。

おかげさまで、開設以来、利用率は80%を超えており、これから出産しようとする女性に好評であり、「子どもと女性にやさしい」まちづくりが進行中

されています。わたし自身、この機会に、もう一度足元を見つめなおし、現在だけでなく、将来に責任を持つ人間、政治家でありたいと考えております。

政治に携わる一人として、昨年の最大の関心事は、やはり政

権の交代でありました。

政治の変革が地方に及ぼす影響は、すでにいくつか現れていますが、今後、地方分権とともに大きく変わっていくもの

はじめて  
政権交代により大きく変わらうとしている日本  
一人ひとりが政治のあるべき姿を真剣に考えるとき

政治に携わる一人として、昨年の最大の関心事は、やはり政

権の交代でありました。

政治の変革が地方に及ぼす影響は、すでにいくつか現れていますが、今後、地方分権とともに大きく変わっていくもの

はじめて  
政権交代により大きく変わらうとしている日本  
一人ひとりが政治のあるべき姿を真剣に考えるとき

政治に携わる一人として、昨年の最大の関心事は、やはり政

権の交代でありました。

政治の変革が地方に及ぼす影響は、すでにいくつか現れていますが、今後、地方分権とともに大きく変わっていくもの

はじめて  
政権交代により大きく変わらうとしている日本  
一人ひとりが政治のあるべき姿を真剣に考えるとき

政治に携わる一人として、昨年の最大の関心事は、やはり政

現在の我が国は、政界をはじめ労働問題・経済・福祉などまだ大きく揺れることが予想され、流動的で社会全体が安定するまでこれから数年かかると思われます。

これまでの古い慣習を見直し、大きく方向転換をしようと

次に教育についてですが、社会全体が混迷している現在、「豊かさの中の貧しさ」といわれる状況が社会のいたるところで見受けられます。とりわけ心の貧しさが世の中に暗い影を投げかけています。

このような現状において、未

は、本来あるべき人間としての生き方を学ぶ教育を基礎からしっかりと行う必要があります。

社会のルールやマナーなどの規範意識、また忍耐力や感謝の念など、人間としての基礎となる道徳性を養うための教育を最

重点として取り組み開かれた学

校づくりを進め、教員の意識改

革を図り、学校総体としての「学校力」の向上に努める」とを最重要課題として取り組んでいきます。そこで、平成22年度においては、小学校の少人数指導担当教員の配置校を、現在の4校から全8校に拡大し、これ

により着実な学力の向上を目指

していく。そのうえ、子供たちがこれから的人生を心

豊かに生きていけるよう「人格

を磨けば学力が上がる」を理念

とした教育を推進するととも

に、「生きる力」の基礎となる健康や体力をはぐくむよう努め

ていきます。

とを国民がどのように判断するのか、また、今後どうすればよ

いのか、さまざま形での判断

現在の我が国は、政界をはじめ労働問題・経済・福祉などまだ大きく揺れることが予想され、流動的で社会全体が安定するまでこれから数年かかると思われます。

これまでの古い慣習を見直し、大きく方向転換をと

次に教育についてですが、社会全体が混迷している現在、「豊かさの中の貧しさ」といわれる状況が社会のいたるところで見受けられます。とりわけ心の貧しさが世の中に暗い影を投げかけています。

このような現状において、未

は、本来あるべき人間としての生き方を学ぶ教育を基礎からしっかりと行う必要があります。

社会のルールやマナーなどの規範意識、また忍耐力や感謝の念など、人間としての基礎となる道徳性を養うための教育を最

重点として取り組み開かれた学

校づくりを進め、教員の意識改

革を図り、学校総体としての「学校力」の向上に努める」とを最重要課題として取り組んでいきます。そこで、平成22年度においては、小学校の少人数指導担当教員の配置校を、現在の4校から全8校に拡大し、これ

により着実な学力の向上を目指

していく。そのうえ、子供たちがこれから的人生を心

豊かに生きていけるよう「人格

を磨けば学力が上がる」を理念

とした教育を推進するととも

に、「生きる力」の基礎となる健康や体力をはぐくむよう努め

ていきます。

とを国民がどのように判断するのか、また、今後どうすればよ

いのか、さまざま形での判断

現在の我が国は、政界をはじめ労働問題・経済・福祉などまだ大きく揺れることが予想され、流動的で社会全体が安定するまでこれから数年かかると思われます。

これまでの古い慣習を見直し、大きく方向転換をと

次に教育についてですが、社会全体が混迷している現在、「豊かさの中の貧しさ」といわれる状況が社会のいたるところで見受けられます。とりわけ心の貧しさが世の中に暗い影を投げかけています。

このような現状において、未

は、本来あるべき人間としての生き方を学ぶ教育を基礎からしっかりと行う必要があります。

社会のルールやマナーなどの規範意識、また忍耐力や感謝の念など、人間としての基礎となる道徳性を養うための教育を最

重点として取り組み開かれた学

校づくりを進め、教員の意識改

革を図り、学校総体としての「学校力」の向上に努める」とを最重要課題として取り組んでいきます。そこで、平成22年度においては、小学校の少人数指導担当教員の配置校を、現在の4校から全8校に拡大し、これ

により着実な学力の向上を目指

していく。そのうえ、子供たちがこれから的人生を心

豊かに生きていけるよう「人格

を磨けば学力が上がる」を理念

とした教育を推進するととも

に、「生きる力」の基礎となる健康や体力をはぐくむよう努め

ていきます。

とを国民がどのように判断するのか、また、今後どうすればよ

いのか、さまざま形での判断

現在の我が国は、政界をはじめ労働問題・経済・福祉などまだ大きく揺れることが予想され、流動的で社会全体が安定するまでこれから数年かかると思われます。

これまでの古い慣習を見直し、大きく方向転換をと

次に教育についてですが、社会全体が混迷している現在、「豊かさの中の貧しさ」といわれる状況が社会のいたるところで見受けられます。とりわけ心の貧しさが世の中に暗い影を投げかけています。

このような現状において、未

は、本来あるべき人間としての生き方を学ぶ教育を基礎からしっかりと行う必要があります。

社会のルールやマナーなどの規範意識、また忍耐力や感謝の念など、人間としての基礎となる道徳性を養うための教育を最

重点として取り組み開かれた学

校づくりを進め、教員の意識改

革を図り、学校総体としての「学校力」の向上に努める」とを最重要課題として取り組んでいきます。そこで、平成22年度においては、小学校の少人数指導担当教員の配置校を、現在の4校から全8校に拡大し、これ

により着実な学力の向上を目指

していく。そのうえ、子供たちがこれから的人生を心

豊かに生きていけるよう「人格

を磨けば学力が上がる」を理念

とした教育を推進するととも

に、「生きる力」の基礎となる健康や体力をはぐくむよう努め

ていきます。

とを国民がどのように判断するのか、また、今後どうすればよ

いのか、さまざま形での判断

現在の我が国は、政界をはじめ労働問題・経

め職員一丸となり「チーム泉大津」という意識を持ち、数年先に明るい泉大津を信じ、頑張つていけます。

新年度の一般会計予算案の総額は、263億9132万円で、前年度と比較すると10.9%の増となり、また、特別会計などでは、303億6071万円で、前年度比2.4%の減で、全会計では、567億5203万円で、前年度比3.4%の増となります。一般会計が増加しているのは、子ども手当事業のおおよそ13億円が含まれていることが主な要因です。

新年度事業としては、南海中央線などの街路事業や南海本線連続立体交差事業および浜街道整備事業の推進や公園・道路の緑化に取り組むとともに、環境にやさしい太陽光パネルの活用、電気自動車の導入などの事業を実施していきます。

また、「カルチャースクール」と称して、本市に文化や芸術の雨を降りし、市民が癒され、元気になるよう集中的に取り組んでいきます。

学校の耐震化については、この6年間で大きく進展し、現在、耐震化率は80.4%ですが、平成22年度末には82.4%となる見込みです。また、本年度において100%となる事業計画を確定するとともに、東陽中学校の校舎建設に向けてのグランドデザインを模索していきます。

母子ともに安心して医療を受ける体制づくりとしては、妊婦健診に係る補助の充実を図るとともに、乳幼児医療助成の対象年齢を5歳未満まで引き上げて

いきます。

近年、さまざまなトラブルが生じている消費者問題については、年々、その相談内容が複雑になってきており、それなりに対応するため、消費生活相談の相談員を増員し、相談室も拡充します。

火葬場につきましては、ようやく着工できました。

近来、さまざまなおトラブルが生じて、人間としての最後の尊厳を保てるような場所として整備していきます。

また最近、頻繁に各地で地震や水害などさまざまな災害が発生していますが、本市が提唱し

たが、人間としての最後の尊嚴を保てるような場所として整備していきます。

現在9市が加盟している市町村

で、現在3市以上の新たな加入



が予定されており、災害時に備えています。

設立から5年を迎える消防団については、その人員を増員し、充実していくことを考えています。

まだ全国的に好転の兆しを見せていない雇用については、引き続き緊急雇用対策事業として、学校サポート事業、港湾

運営事業、迷惑駐車防止啓発事業、医療費適正化推進事業などを実施します。その他、障

がい者の雇用施策として、砂場殺園洗浄事業や市内公園清掃事業などの範囲を拡大します。

して、高齢者の皆さん雇用施策としては、公園の除草作業や現場管理、樹木のせん定などの事業を拡充していきます。

振興対策事業、迷惑駐車防止啓発事業、医療費適正化推進事業などを実施します。その他、障

がい者の雇用施策として、砂場殺園洗浄事業や市内公園清掃事業などの範囲を拡大します。

して、高齢者の皆さん雇用施

策としては、公園の除草作業や現場管理、樹木のせん定などの事業を拡充していきます。

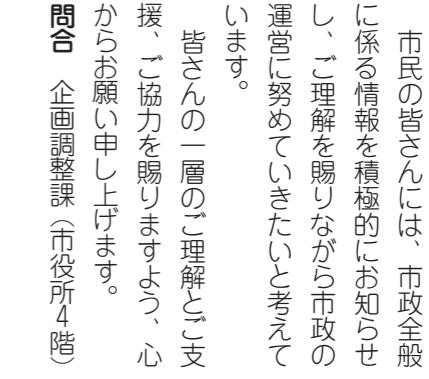
たが、人間としての最後の尊嚴を保てるような場所として整備していきます。

また最近、頻繁に各地で地震や水害などさまざまな災害が発生していますが、本市が提唱し

たが、人間としての最後の尊嚴を保てるような場所として整備していきます。

現在9市が加盟している市町村

で、現在3市以上の新たな加入



限り軽減する努力を精一杯続けます。

市民の皆さんには、市政全般に係る情報を積極的にお知らせし、理解を賜りながら市政の運営に努めていきたいと考えています。

皆さんの一層の理解とご支

援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申上げます。

企画調整課（市役所4階）

## 文化芸術を通じ、「心豊かで活力ある泉大津」を目指して

今年度は、「文化芸術を通じ、「心豊かで活力ある泉大津」を目指して」をスローガンに、文化芸術を通じて、泉大津の文化活性化を図ることを目的とした「カルチャースクール」を実施します。

泉大津は、早くから拓け、独自の文化風土を醸成してきました。

市では、質の高い文化芸術にふれ、日々の生活をより実りあるものにするため、5月から文化フォーラム「カルチャースクール」を実施します。

▼▼泉大津の文化的背景

泉大津は、早くから拓け、独自の文化風土を醸成してきました。

弥生時代には、西日本最大級の「ムラ」をつくっていたこと

が、「池上曾根遺跡」の調査で明らかになりました。奈良時代には、府中（和泉市）に置かれた「国

港」として栄え、平安時代前期の「土佐日記」に「小津の泊（とま

り=港）」と記され、泉大津は大阪湾に面した交通の要衝として人・もの・情報の交流が活発に行われました。

泉穴師神社は、古代や中世の栄華を伝え、熊野街道沿いに残る神社仏閣もかつての熊野詣にぎわいをしのばせます。春日町墓地にあるロシア人墓地は、日露戦争で捕虜となり、異国の中で寂しく亡くなつたロシア人兵士を住民が手厚く葬つたもので、心温かい民衆の心をうかがわせています。

戦後の泉大津は、毛布やニット製品などの生産が盛んになり、全国有数の「織維の町」に発展。小中学校の先生による美術教育も特筆すべきで、全国コンクールでたびたび最高賞を受賞する

など、市の教育力向上に大きく寄与したといわれています。

▼▼参加をお待ちしています

文化芸術は、人々に感動と潤いを与え、豊かな人間性を育み、地域を元気にさせます。輝かし

い歴史をもつ泉大津のさりなる発展を目指し、暮らしに文化芸術が息づく、魅力あふれるまちづくりを進めています。多彩な文化イベントを毎回開催する

試みは、ほかではめったにありません。ぜひご参加ください。

第1回は5月16日！  
シリーズ「織維の新しい可能性」

東南アジア各国の低廉な製品によって市場を奪われている日本の織維製品。織維産業を再生するには日本の高い技術力、豊かなデザイン力をどう生かせばよいか。織維産業や周辺分野で挑戦している「トップランナー」とともに考える、全5回のシリーズ。詳細は上の表参照。問合 企画調整課（市役所4階）

新火葬場外観 イメージ図



新火葬場エントランス イメージ図



老朽化の進む現在の火葬場に代わる新しい火葬場の建設設計画がまとまりました。次のことより、周辺環境との調和や環境汚染防止に配慮した建物を建設します。

## 新しい火葬場の名称を募集

市では、新しい火葬場の名称を募集します。はがきに新しい火葬場にふさわしいと思われる名前を記入し、ご自身の住所、氏名、年齢を記入のうえ、5月10日までに、〒595-1868 泉大津市市民課「新火葬場名称募集係」までお送りください。

決定した名称は、広報いすみおおつで紹介するほか、ホームページなどでも紹介します。

窓口 市民課（市役所1階4番）

# 新火葬場 建設計画まとまる

## ふさわしい名称を募集します！

火葬場建設設計画概要

- 建設予定地 汐見町104番地
- 敷地面積 約4993m<sup>2</sup>
- 構造 平屋建て一部2階
- 延床面積 約1285m<sup>2</sup>

なお、建物には火葬炉4基と動物炉1基のほか、会葬の皆さんのがひつぎを見送ることができると前ホールや、収骨室、待合ホール、また会葬者用に約30台分の駐車場も作られる計画です。

# 「泉大津市経営指針」を策定

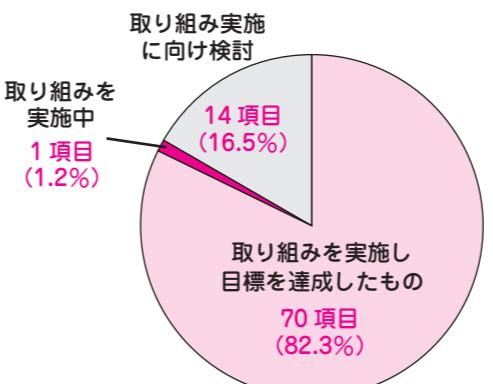
= 3年間ですべての指標を基準値内に！ =

市では、これまで、市民の皆さんのご協力を得ながら、数次の行政改革を推進し、平成18年度に策定した「いすみおおつ再生・未来プラン」に基づき、さまざまな歳出削減・歳入確保の取り組みを進めてきました。そこで、「再生・未来プラン」の進捗状況など、現時点での取り組みと成果を示し、市の全会計を対象とした今後の収支計画を明らかにし、地方財政健全化法で示された指標を確実にクリアするため、「泉大津市経営指針」を策定しました。

## 「再生・未来プラン」取り組みと成果

現時点で、全体の85項目中70項目で目標を達成し、取り組みを実施中の1項目を含めるとプランの達成率は83.5%、21年度末には達成率95.3%となる予定です。なお19年度・20年度決算において、実質収支などの財政指標の数値は目標を達成しました。

### ■再生・未来プランの成果



### ■平成19年度・20年度決算における財政指標

目標	19年度	20年度
実質収支	各年度において黒字を確保する	96百万円の黒字
経常収支比率	当面100%未満とする	99.5% 99.4%
実質公債費比率	当面25%（起債制限ライン）未満とする	16.6% 17.3%

問合 行政改革推進室（市役所4階）

### 財政状況の現況と推移を紹介

今後の行政運営を見極めるうえで、現況の財政状況及び平成26年度までの推移などを基に、普通会計及び特別会計などの収支計画を策定します。

なお「泉大津市経営指針」は、市ホームページ、または情報公開コーナーでご覧いただけます。

受益者の適正化・公平化税などの適正な賦課、税源涵養のあり方などに取り組みます。

ゼロベースでの事業見直しで以上に収入確保を行うことはもとより、事業費総計の歳出金額を基本とした予算編成ではなく、歳入を原点・基点とした予算編成への転換を図っていきます。

受益者の適正化・公平化税などの適正な賦課、税源涵養のあり方などに取り組みます。

### ①人件費の更なる見直し

適正な定員管理、給与制度の見直しを行います。

の比率とします。将来負担比率は、350%が基準値ですが、270%以内の比率とします。

### ②事務事業の更なる見直し

民営化・アウトソーシングの推進、標準超過行政の見直し、施設のあり方などに取り組みます。

### 経営の指針

#### 「入りを囲りて出するを為す」

平成22年度から平成24年度までの3年間（※収支計画は5年間）に、地方財政健全化法におけるすべての指標を基準値以内に収めることとしました。具体的には、実質赤字比率は、各年度において黒字とします（12.73%）。また連結実質赤字比率は、17.73%が基準値ですが、15.00%以内の比率とします。実質公債費比率は、基準値25.0%ですが、24.0%以内

### ③歳入の確保

歳入確保に努めます。

### 3つの視点

